

2025 年 4 月 13 日 午前 10 時 30 分  
受難節第 6 主日 (棕櫚の主日) 主日礼拝  
司会 伊藤愛子  
奏楽 川名ひさ子

讚美歌・詩編交読・信仰告白では起立をしますが、お立ちになりにくい方は、座ったままでどうぞ。

(平仮名の読み)  
前奏  
招きのことば 第 1 コリント 1:18, 22-25  
讚美歌 309「あがたの主に」 一同  
交読詩編 118:11-29(P.134/130)

祈り 司会者  
《関東教区お祈りカレンダー》  
敬和学園大学・高校 共愛学園前橋国際大学  
(主の祈り)

讚美歌 305(1,2,5,6)「イエスの担った十字架は」 一同

聖書 旧約:哀歌 5:15-22(P.1295)  
新約:マタイ 27:45-56(P.58)

メッセージ『なぜ見捨てるのか?』  
祈り 川上 盾 牧師

讚美歌 311(1,2,4,6)「血しおしたたる」 一同

献金 一同  
(献金感謝の祈り)

信仰告白(レントのリタナー⑥ キヤンドル消火) 一同

頌栄 1(4)  
祝禱 川上 盾 牧師  
後奏  
報告・紹介

＜招きのことば＞第 1 コリント 1:18, 22-25  
十字架の言葉は、滅んでいく者にとっては愚かなものですが、わたしたち救われる者には神の力です。…ユダヤ人はしるしを求め、ギリシア人は知恵を探しますが、わたしたちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えています。すなわち、ユダヤ人にはつまずかせるもの、異邦人には愚かなものですが、ユダヤ人であろうがギリシア人であろうが、召された者には、神の力、神の知恵であるキリストを宣べ伝えているのです。神の愚かさば人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからです。

《4月礼拝当番》 廣瀬一寛 田村 啓  
 饗場佐知子 ペニンソン・ウェイン  
 橋本洋子 ペニンソン有子

《今週の集会・行事》  
◎ CS朝礼拝 9:15(進級式)  
◎ 14-18 日 受難週祈りの課題  
 \*14 日 マタイ 21:1-10 エルサレム入城(ちいろば)  
 \*15 日 マタイ 23:37-24:2 エルサレムへの嘆き～神殿崩壊預言  
 \*16 日 マタイ 26:1-16 カイファ・マリヤ・マグダ  
 \*17 日 マタイ 26:17-46 最後の晩餐・ゲツセマネの祈り  
 \*18 日 マタイ 26:47-75 逮捕・裁判・ベトロの裏切り

◎ 17 日(木)10:30 婦人会例会  
◎ 18 日(金)牧師、共愛中高イースター礼拝  
◎ 18 日(金)税務調査  
◎ 19 日(土)10:00 会堂清掃 A 組, CS イースターエッグ作り  
◎ 19 日(土)11:00 教会総会資料作成

《次週の主日》 イースター(復活祭)  
◎ CSイースター礼拝 8:00  
◎ イースター礼拝 10:30 (聖餐式)  
メッセージ『朝の光の中で』  
聖書:旧約:創世記 1:1-5(P.1)  
新約:マタイ 28:1-10(P.59)  
讚美歌 325, 322(1-4), 204(1-3), 81, 204(4)  
交読詩編 66:1-9(P.73/69)  
司会:廣瀬一寛 奏楽:金井文子  
\*墓前礼拝 14:30 (14:00 墓地清掃)

《予告》  
◎ 2025 年度教会定期総会 27 日(日)礼拝後

《公告》 (総会資料は 4/20 配布予定です。)  
2025 年度 前橋教会定期総会  
日時: 2025 年 4 月 27 日(日)礼拝後  
会場: 日本キリスト教団前橋教会 礼拝堂  
1. 2025 年度教会役員会選挙に関する件  
2. 2024 年度諸報告に関する件  
3. 2024 年度教会会計決算報告に関する件  
4. 2025 年度活動計画に関する件  
5. 2025 年度教会会計予算案に関する件  
7. その他

《報告》  
◎ 受難週に入ります

今日は棕櫚の主日です。エルサレムに入城するイエスを、王の象徴である棕櫚の葉を振りながら「ホサナ!(救いたまえ)」と叫んで迎えた群衆が、数日後には「十字架につけよ!」と叫んだ…そんな身勝手な姿は自分自身なのかも知れません。受難週・祈りの課題に基いて、各自祈りをささげお過ごし下さい。次週はいよいよイースター。朝のCS礼拝、イースター礼拝(聖餐式)、墓前礼拝と続きます。晴れたら嶺公園でのピクニックに出かけましょう。また今年もイースター献金にご協力下さい。

◎ 教会建物・写生イベントのご案内  
〆切での応募は4名・6作品でした。改めてチャレンジして下さる方を期待して、写生イベントを行うこととなりました。また下絵を描くのが苦手な方のために、ぬり絵部門(絵具、色鉛筆、クレヨン)も設けました。ぜひご参加下さい。  
日時 5 月 5 日(月)10:00-14:00 雨天決行  
昼食 ピザまじ(会費 300 円、定員 10 名)  
参加希望者は掲示板の用紙にご記名下さい。

◎ 教会総会資料  
資料提出、本日〆切です。19 日(土)11:00 より総会資料を作成します。お時間の許す方はお手伝い下されば助かります。

《先週の集会》

	礼拝堂	オンライン	献金
主日礼拝	45	22	37,100

《メッセージ》「主に選ばれた者の特権」川上牧師  
創世記 25:29-34, マタイ 20:20-28(4 月 6 日)  
▼「人は生まれながらにして平等」— 日本国憲法、合衆国憲法、世界人権宣言などに記された、人類の理想である。しかし実際には、残念ながら差別や格差が溢れ、特権的な立場を得ている人がいるのが現実である。▼旧約は「長子の特権」をめぐる、エサウとヤコブの争いの物語。ある日狩りに出かけた野人・エサウ。インドア派のヤコブは家で豆の煮込みを作っていた。腹を空かせたエサウはヤコブに煮込みをせがみ、ヤコブは「長子の特権をくれたら差し上げましょう」と応じた。エサウは目先の利益のために長子の特権を手放し、ヤコブに譲ってしまう。▼続いてヤコブは父・イサクをも騙して祝福を受け、「長子の特権・完全版」を手に入れる。するとエサウはヤコブに対し恨みを抱き、ついには殺害を計画する。察したヤコブは逃亡の旅に出る…そんな物語だ。▼この物語はどんなメッセージを与えてくれるのだろうか。「長子の特権は大切なものだ。それは何としてでも、それこそ人を騙してでも手に入れるべきだ…そういうことだろうか?」▼新約は、イエスの弟子集団の中で、ある特権を求めた二人の弟子・ヤコブとヨハネに関するエピソード。マタイでは二人が直接イエスに求めたのでなく、二人の母が願い出た形になっている。「あなたが玉座に就かれる時、あなたの左右に息子たちを座らせて下さい」と。▼もとより弟子たちは何か優れた能力や力を持っていたから選ばれたのではない。むしろ多くは貧しい階層の無教養の庶民である。ただ、イエスから招かれて、その後に従う決意を下した。その意味では「熱い人たち」でもある。▼今日の箇所から分かることは、彼らは「栄光のメシア」を求めていたということだ。「ひとりを右に、ひとりを左に…」という願いから、彼らの権力志向が分かる。「他の弟子たちは二人のことで腹を立てた」と記されるが、それは「出し抜きやがって!」という怒りであろう。同じ穴のムジナである。そしてそれは、イエスの思いと大きくズレて行ってしまったのである。▼そんな「栄光の特権」を求める彼らに、イエスは別な形で「選ばれた者の特権」を語られた。「あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者となり、僕になりなさい」。イエスが示された特権は、ヤコブ・ヨハネ、他の弟子たちが求めた「栄光の特権」ではない。ヤコブが兄エサウからだまし取った「長子の特権」でもない。それは「人に仕える生き方をする」「みんなの主人として君臨するのではなく、みんなの僕となる」そんな特権である。▼イエスがもたらされた「救い」とは、圧倒的な武力で敵を打ち倒して勝ち取るものではなく、明晰な頭脳と知識で優位を誇るものでもない。いと小さき人々の傍に寄り添い、一人ひとりの存在を底辺において肯定する…そんな「救い」である。「主に選ばれた者の特権」とは、そのような「仕える生き方」の中にこそ、本当の生きる喜びを感じることができる…そんな特権である。